

学 び 舎 (まなびや)

～清和台南小学校 学校通信 第8号～

平成30年2月9日



挑戦する勇氣

～あと2ヶ月～



2月になりました。3学期の始業式から早1ヶ月、みなさんに「これまでの自分自身にとらわれず、いろいろなことにチャレンジ(挑戦)してほしい」ということをお話ししました。1ヶ月が過ぎましたが取り組んでいるのでしょうか?

私たちは年齢を重ねるにつれて、学年が上がるにつれて「自分はこんな性格だな。」とか「どうせ取り組んでもこれぐらいだろうな。」とだんだん自分自身の能力や可能性を限定してしまうところがあります。アドラーという有名な心理学者は「自分が変わらない

のは自分が変わろうとする勇氣を持たないからだ。」という言葉を残しています。「もっと話が上手なら友達がたくさんできるのに。」

「もっとジャンプ力があったら、跳び箱を跳べるのに。」など、私たちは今自分にないものを言い訳にして、自分の可能性をせまくしてしまうところがあります。でもアドラーに言わせれば「単にそれに取り組む勇氣がないからだ。」ということになるのです。

「いろいろなことに挑戦する」ということは、当然それによって失敗する場面も出てくるかもしれません。でも、失敗を怖がってはいけません。

「どんな失敗も、そこから何も学ばなければただの失敗だが、学べることがあればそれは失敗ではなく経験である。」という言葉もあります。「失敗を恐れず勇氣を持って新しいことに挑戦し、新しい自分を見つける機会を創ってほしい」「失敗したことからしっかり学び、次のチャンスに活かしていこう」、これが「これまでの自分自身にとらわれず、いろいろなことにチャレンジ(挑戦)してほしい」ということの意味です。

3学期もあと2ヶ月、これまでの自分を少しずつ変えて、いろいろな可能性を広げてみて下さい。

私たちは年齢を重ねるにつれて、学年が上がるにつれて「自分はこんな性格だな。」とか「どうせ取り組んでもこれぐらいだろうな。」とだんだん自分自身の能力や可能性を限定してしまうところがあります。アドラーという有名な心理学者は「自分が変わらない

5年 自然学校 スキー実習



5年 自然学校 班長会議

責任と協力 ～清南まつり～

2月3日(土)節分の日の清南小は大賑わい。というのも、子どもたちが楽しみにしていた「清南まつり」が開催されたのです。児童会活動の一環として毎年行われるこの「清南まつり」。今年度はオープンスクールも兼ねて土曜日の開催となりました。おかげさまで、各学級の出し物は例年以上に大盛況。ご家族の方でもお父さん方の姿が多く見られ、忙しい中の参加に本当に感謝の気持ちで一杯です。各学級の出し物は、ゴム鉄砲による的当てやボールを使った



主体的に学び合う学習

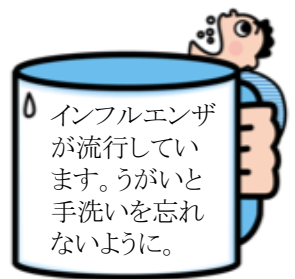
～第30回阪神小学校国語研究大会～



この冬一番の冷え込みが心配された1月26日(金)第30回阪神地区小学校国語教育研究大会が本校で開催されました。阪神6市1町のそれぞれの小学校から授業者が集まり、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域について、各学年の本校児童を対象に提案授業を行いました。本校も3人の教諭がこの機会を活かそうと提案授業に参加しました。たくさんの授業参観者が来られる中提案授業者以上に緊張した面持ちの子どもたちでしたが、それでも一生懸命授業に臨んでいました。がんばりましたね。

分科会では、「話すこと・聞くこと」には追手門学院小学校指導講師の多賀一郎先生、「書くこと」には元京都教育大学附属桃山小学校副校長の川端建治先生、「読むこと」には関西大学初等部教諭の西勝巳先生に来ていただき、深いご示唆をいただきました。

全体講演で予定していた坪内稔典先生が体調不良のため、急遽、川端先生に「『主体的に学び合う国語学習』づくりの要件を考える」と題して講演をいただきました。研究会には、阪神間の小学校だけでなく姫路市・神戸市・朝来市そして池田市、中学校や幼稚園など、当初の予想を上回る200名近くの先生方に参集いただきました。研究会後のアンケートには、本校の児童が落ち着いた環境の下、素直にそして熱心に授業に臨む姿を評価するご意見もいただき、大いに励みとなりました。この集いが私たちの日々の学びにつながるよう、これからもさらに研修を深めていきたいと思ひます。



ストラックアウト、もぐら叩きに○×クイズなど、来られたお客さんを楽しませるイベントがいっぱいです。ゲームの前にはそのルールをきちんと説明する係がいたり、得点を数える係や準備や進行を担当する係がいたり…と、それぞれが自分の役割を果たしながら協力して取り組んでいます。遊びやゲームの中にも、そこにはさまざまな学びがあるのです。インフルエンザの流行で参加できない学級があったのが残念ですが、こうした児童会活動を通じて、教科学習では得られない学習を積んでほしいと思ひます。